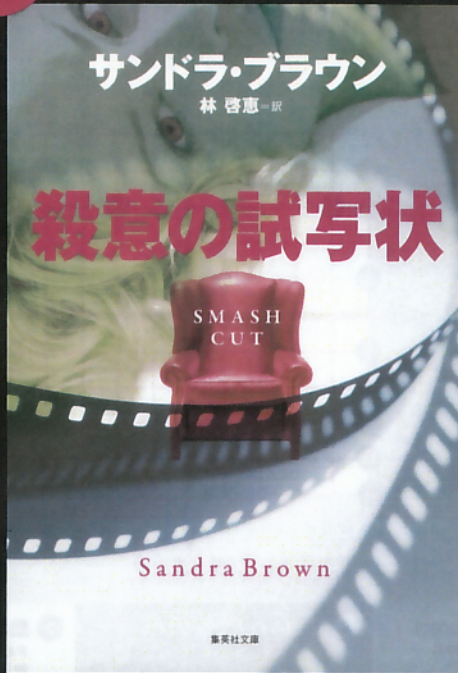


ニューヨークタイムズ紙ベストセラーリスト

56回目のエントリー!



サンドラ・ブラウン 『殺意の試写状』

林 啓恵=訳
定価950円

エレベーターの中で富豪の男が射殺された。
事件の裏で糸を引くのは、
男の甥で映画マニアの美青年、クライトンか?
それとも男の愛人と噂される
画廊オーナーの美女、ジュリーか?
間に挟まれた辣腕弁護士のデリクは
甥も愛人も信用できないまま、
真犯人の描いた“脚本”に巻き込まれていく。

この小説のためにたくさんの映画を観たわ。
その成果(!?)は作品中に散りばめられています。
お楽しみに。

【著者紹介】 サンドラ・ブラウン Sandra Brown

テキサス州フォートワース育ち。モデルやリポーターを経て、1981年に作家に転向。ロマンス小説から始まり、現在はサスペンス色の強い作品を毎年発表している。これまでに小説は74作を出版、全世界33カ国で述べ7000万部以上を売り上げる。最近は犯罪捜査を扱ったテレビ番組の司会や、ケーブルテレビのミステリー番組の脚本など新たなジャンルにも挑戦している。

「サスペンスの名手」として名高いが、2009年には発表した『RAINWATER』で、大恐慌時代のテキサスを舞台とした切ない人間模様を描き、多彩な実力を証明。また、息子のライアン・ブラウンも今年『PLAY DEAD』で作家デビューし、将来を期待されている。

2008年にはスティーヴン・キングらが所属する International Thriller Writer's Association から最高の栄誉となる Thriller Master 賞を受賞。このほか American Business Women's Association's Distinguished Circle of Success 賞など、作家としてのみならず一人の女性としての生き方の評価も高く、多くの女性のロールモデルとなっている。



© Katsumi Nakayama

サ ン ド ラ は

クイーン・オブ・クライム

犯 罪 の 女 王 だ !